

平成29年度 橋梁点検箇所一覧

点検数	橋梁番号	橋梁名	路線番号	町道名	地内	判定区分	橋長(m)	全幅員(m)	備考
1	7	档ヶ山橋	111	井俣-茶ノ木線	仮宿	I	30.5	8.2	現状では、措置を講ずるべき損傷は見当たらない。
2	8	カニ喰橋	201	中尾-鷺塚線	永吉	II	8.7	4.1	主桁に鉄筋露出、高欄に腐食が見られる。PC鋼材等の腐食は橋の機能に影響を与える恐れがあるため、予防保全の観点より、防錆等の対策が必要である。
3	14	平良橋	206	田中-四塚線	井俣	II	37.8	9.8	主桁G1桁の上フランジの付け根に橋軸方向のひびわれがみられる。外桁のため、劣化因子が侵入し損傷が拡大する恐れがある。予防保全の観点より、ひびわれ補修等の措置が望ましい。
4	18	角堂橋	213	角堂-篠段線	野方	I	3.7	6.4	各構造物の機能に支障は生じていないため、経過観察とする。
5	22	吹切橋	350	城内-宮園線	横瀬	II	42.7	6.2	床版横締め定着具の一部にかぶり不足による鋼材腐食がみられる。PC鋼材の腐食は橋の機能に影響を与える恐れがあるため、予防保全の観点より、防錆等の対策が望ましい。
6	27	梶岡橋	354	梶岡-栗之峰線	永吉	I	1.8	6.0	補修を必要とする損傷なし。舗装の段差については、道路維持対応。各構造物の機能に支障は生じていないため、経過観察とする。
7	29	浜牟田橋	355	中尾-山村線	横瀬	II	4.8	6.0	桁下面に断面減少を伴った鉄筋露出がみられ、それを要因とするうきやひびわれも確認できる。潮の干満区間に位置し、進展の恐れがあるため、予防保全の観点より、塩害対策を考慮した断面修復等の措置が望ましい。
8	32	宮園橋	373	宮園-崎園線	永吉	II	4.5	8.7	主桁下面に漏水を伴ったひびわれ、うき、鉄筋露出がみられる。予防保全の観点より、ひびわれ補修、断面修復等の措置が望ましい。また、防護柵の支柱が欠損し、横棧に影響を与えているため補修が必要である。
9	33	第二新川橋	374	牧-谷迫線	永吉	I	4.3	7.4	RC床版の両側に同構造の橋が拡張されている。主要部材に大きな損傷はなく、現状では、措置を講ずるべき損傷は見当たらない。
10	34	田畑橋	378	新川-档ヶ山線	永吉	II	8.4	5.6	主要部材に大きな損傷は見られない。橋台上流側の水路側壁が背面側に傾斜しており、一部に土砂の吸出しも見られた。今後、取付道路部が陥没する恐れがあるため、予防保全の観点より、土砂の吸出し対策等が必要である。
11	41	梅ヶ渡橋	435	水之谷-馬場下線	野方	I	14.5	5.8	耐候性鋼材を使用した鋼橋である。現状では、措置を講ずるべき損傷は見当たらない。
12	52	尾迫橋	497	持留-中沖線	永吉	II	90.0	10.8	耐候性鋼材を使用した鋼橋である。横桁の一部に層状の錆が発生している。また、床版全体に橋軸直角方向のひびわれが多数みられる。予防保全の観点より、塗装塗り替えとひびわれ補修等を行うことが望ましい。

《判定区分》 I：健全 II：予防保全段階 III：早期措置段階 IV：緊急措置段階